

1. 科目名 (単位数)	音楽Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	SJMP2140															
2. 授業担当教員	本野 洋子																	
4. 授業形態	演習, 講義, 実技	5. 開講学期	春期															
6. 履修条件・他科目との関係																		
7. 講義概要	<p>「音楽Ⅱ」では主に保育現場で行われているリズム活動に対応できるリズム感とそれを身体表現できる力の育成、子どもの楽器活動に関する理解、手遊びの習得を目指す。保育現場で行われるリズム活動では、身体を使って音楽を感じ取り表現するので、活動にふさわしい楽曲の演奏や動きに合わせて即興的に演奏する方法を身につけなければならない。また、わらべうたが培う子どもの力を理解し、わらべうたを歌い遊べるようにする。さらに主にリズム楽器の正しい奏法、扱いに習熟し、子どもの歌や楽曲を楽器で楽しむ方法を学ぶ。</p> <p>1 年次に培った弾き歌いの演奏技術を継続的に磨き、手遊び歌のレパートリーも増やす。手遊び歌はわらべうた同様、アカペラで歌うものなので、正しい音程で歌えるソルフェージュ力をつける。</p>																	
8. 学習目標	<p>1. リズム活動のためのピアノ演奏ができる。自身も音楽に合わせてリズムカルに動ける。</p> <p>2. 保育活動で使われる楽器に関する正しい知識を持つ。楽器遊びや合奏にアレンジできる。</p> <p>3. 手遊び歌、わらべうたのレパートリーを増やし、正しく歌い遊ぶことができる。</p> <p>4. 弾き歌いの演奏技術を高める。</p>																	
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<p>① ピアノ：課題曲を次週までによく練習しておくこと。</p> <p>② こどもの歌、手遊び歌、リズム活動を主とした遊び歌等のレパートリーを増やす。</p> <p>③ コードネーム等授業内で課された理論課題を実施し、提出すること。</p> <p>適宜に「弾き歌い」、「手遊び歌」等の発表を行う。</p>																	
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 音楽(幼)で使用した教科書を継続使用。 ・上記の教科書以外に必要な楽譜等は、授業内でプリントにして配布予定。</p> <p>【参考書】 ・二宮紀子著『歌って弾いて書いてわかる子どもの歌・ピアノ伴奏のしくみ』音楽之友社、2014。</p> <p>【教材】※各自で必ず購入しておくこと。 ・五線紙、五線ノート(授業初回時に説明) ・ヘッドフォン ・6.3mmステレオジャック(先端が3.5mmジャックの場合、ステレオ変換ジャックが必要)</p>																	
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. リズム活動のためのピアノ演奏ができ、自身も音楽に合わせてリズムカルに動けるか。</p> <p>2. 保育活動で使われる楽器に関する正しい知識を持ち、楽器遊びや合奏にアレンジできるか。</p> <p>3. 手遊び歌、わらべうたを正しく歌い遊ぶことができるか。</p> <p>4. 弾き歌いの演奏技術を高められたか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>保育活動で使われる楽器を使った楽器遊びや合奏の発表</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>手遊び歌、わらべうたの発表</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>弾き歌いの発表</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>授業への取り組み(学習意欲・学習態度など)</td> <td>総合点の20%</td> </tr> </table> <p>上記のほか、本学規定に定められている3/4以上の出席を単位認定の条件としている。</p>			1	リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表	総合点の20%	2	保育活動で使われる楽器を使った楽器遊びや合奏の発表	総合点の20%	3	手遊び歌、わらべうたの発表	総合点の20%	4	弾き歌いの発表	総合点の20%	5	授業への取り組み(学習意欲・学習態度など)	総合点の20%
1	リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表	総合点の20%																
2	保育活動で使われる楽器を使った楽器遊びや合奏の発表	総合点の20%																
3	手遊び歌、わらべうたの発表	総合点の20%																
4	弾き歌いの発表	総合点の20%																
5	授業への取り組み(学習意欲・学習態度など)	総合点の20%																
12. 受講生へのメッセージ	<p>「音楽(幼)」で学んだことを踏まえ、幼稚園・保育所の現場で実践できるようなピアノ演奏技能レベルの更なる向上を目指しましょう。ピアノ演奏技能の習得には少しずつでも毎日練習することが大切です。また、リズム活動、手遊び歌、楽器遊び、アンサンブルなどを通じて幼稚園の現場で豊かな音楽活動が展開できるよう、まず皆さん自身が体を動かし、子どもたちと楽しく活動できる力をつけていきましょう。</p>																	
13. オフィスアワー	授業時に通知。																	
14. 授業展開及び授業内容																		
講義日程	授業内容	学習課題																
第1回	オリエンテーション シラバス説明、授業概要 経験値に応じた課題曲選曲	事前学習	今まで学んだこどもの歌の復習。															
		事後学習	オリエンテーションで指導されたことの復習。															
第2回	音楽理論①写譜をする 手遊び歌の習得①手遊び歌とは ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン①	事前学習	課題曲の練習。五線ノートの準備。															
		事後学習	レッスンの復習。音楽理論、手遊びについて復習。															
第3回	音楽理論②楽譜の書き方 手遊び歌の習得②手遊び歌の効果とは ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン②	事前学習	課題曲の練習。															
		事後学習	レッスンの復習。音楽理論、手遊びについて復習。															
第4回	音楽理論③大譜表の書き方 手遊び歌の習得③乳児向けの手遊び歌 ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン③	事前学習	課題曲の練習。															
		事後学習	課題曲の復習。楽譜の書き方について復習。															

第5回	音楽理論④主要三和音について 調性について ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン④ 手遊び歌の習得④親子で楽しむ手遊び歌	事前学習	課題曲の練習。
		事後学習	レッスンの復習。手遊び歌について復習。
第6回	ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑤ 手遊び歌」についてのディスカッション及 びレポート作成	事前学習	課題曲の練習。
		事後学習	レッスンの復習。手遊びについて復習。
第7回	音楽理論⑤V7を用いたコードネーム 手遊び歌の習得⑤以上児向けの手や体の 動きで表現する手遊び歌 ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑥	事前学習	課題曲の練習。
		事後学習	課題曲の復習。音楽理論、手遊びについて復習。
第8回	音楽理論⑥拍、拍子について ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑦ 手遊び歌の習得⑥言葉とリズムを楽しむ 遊び歌	事前学習	課題曲の練習。
		事後学習	レッスンの復習。拍、拍子について復習
第9回	ピアノ弾き歌い発表:コードネーム譜を作 成し、その楽譜で演奏する	事前学習	課題発表曲の練習。
		事後学習	課題発表曲の復習
第10回	音楽理論⑦音階とコードネーム 手遊び歌・パネルシアター・エプロンシア ターなどの実践、発表① ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑧	事前学習	課題曲の練習。
		事後学習	課題曲の復習。手遊び歌などについて復習。
第11回	音楽理論⑧主要三和音のコードネーム ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑨ 手遊び歌・パネルシアター・エプロンシア ターなどの実践、発表②	事前学習	課題曲の練習
		事後学習	レッスンの復習。手遊び歌などについて復習。
第12回	音楽理論⑨コードネームとカデンツ ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑩ 手遊び歌・パネルシアター・エプロンシア ターなどの実践、発表③	事前学習	課題曲の練習。
		事後学習	レッスンの復習。手遊び歌などについて復習。
第13回	音楽理論⑩コードネームの書き方 ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑪ 手遊び歌・パネルシアター・エプロンシア ターなどの実践、発表④	事前学習	課題曲の練習。
		事後学習	レッスンの復習。手遊び歌などについて復習。
第14回	音楽理論⑪コードネーム譜の作成 ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑫ 手遊び歌・パネルシアター・エプロンシア ターなどの実践④	事前学習	課題発表曲の練習。
		事後学習	課題発表曲の復習。コードネーム譜、手遊び歌などについ て復習。
第15回	ピアノ演奏及び弾き歌い発表 発表の振り返りレポート作成・提出 今後の学びについて	事前学習	グループごとに発表の練習。
		事後学習	今後の学びについて授業で指導されたことを実践する。